

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	文化団体育成助成事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	文化振興課		
	事業期間	平成14年度			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		15 文化振興		2 団体の自主的な文化芸術活動を支援します				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 市内文化団体を育成し組織の活性化を図るとともに、多くの市民が文化活動に目を向け、参加できる環境づくりをする。 小中学生に対して、学校だけではできない分野の指導を受けられるようにし、文化活動の育成を図る。 									
	内容 (手段)	<p>○25年度実施内容</p> <p>文化協会創立40周年記念事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化協会運営に対する補助金(2,000千円) 文芸誌「駒来」補助金(380千円) <p>◇総合文化祭</p> <p>展示の部(美術・文芸)5月21日～26日、展示の部(生花・茶)5月25日・26日</p> <p>芸能の部 5月26日</p> <p>◇文化講演会 2月13日</p> <p>職員は、文化協会役員会(年9回程度)、小牧の文化編集委員会(年3回程度)開催のため庶務事務及び調整を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文芸協会に文芸誌「駒来」発刊への補助金(380千円)毎月発行 ジュニア育成文化活動事業委託 <p>伝統文化の指導者として文化協会会員を学校に派遣した。ジュニアクラブ化推進委員会の中で組織された美術と演劇について、成果を披露できる機会を提供した。</p> <p>ジュニア育成文化活動事業委託(722千円) 講師派遣244人(内夏休み文化体験教室41人)</p> <p>ジュニア美術クラブ育成事業委託(241千円) 24回実施</p> <p>ジュニア演劇クラブ育成事業委託(290千円) 21回実施</p> <p>職員は、学校からの派遣依頼に基づき文化協会と調整し学校に連絡を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文芸誌「駒来」配布用他消耗品費等(209千円) <p>○26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニア育成文化活動事業委託料(1,360千円) 研修用バス借上料(284千円) 文化協会補助金(1,000千円) 文芸誌「駒来」補助金(380千円) 文芸誌「駒来」配布用他消耗品費等(315千円) 									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	2,683	2,958	3,842	3,339	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	1,121	1,281	1,081	1,081
		費用合計		千円	4,330	4,765	5,449	4,946
	対前年比		%		110.0	114.3	90.7	
財源	一般財源	千円	4,330	4,765	5,449	4,946		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	小牧の文化発行	回	目標	2	2	2
実績				2	1	1	
文芸誌「駒来」発行		回	目標	12	12	12	12
			実績	12	12	12	
総合文化祭の開催		回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26	
文化協会会員数	人	目標	1,600	1,550	1,550	1,500	
		実績	1,512	1,484	1,424		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の達成状況	9部門14部会の組織が文化活動しており、加盟団体の発表の場である総合文化祭と文化に関する事業の企画を行い、会員相互のコミュニケーションとレベルアップにつながった。また、次世代を担う子どもたちに対して、ジュニア育成文化活動や夏休みこども文化体験教室を通して、文化に触れる機会をつくり文化の重要性を伝えた。会員の高齢化により文化協会会員数は減少し、目標達成には至らなかった。	
	事業実施における課題	文化協会・文芸協会の会員が、固定化及び高齢化している。さらなる発展につなげるためには、新しい会員の確保と活動範囲の拡大が必要である。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	文化振興指導員による運営・育成指導ができなくなり、市内文化団体の活動が停滞し小牧市の文化振興の推進に支障をきたす。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	総合文化祭において、子どもも含めたワークショップを実施し、文化に興味や関心を持つきっかけづくりとした。
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持
	判定理由	文化協会・文芸協会ともに自立した発展を望むが、市の支援なしでは運営が難しい。文化団体の育成・指導の方法を検討し、団体のさらなる向上を目指す。	
	27年度以降の改善案	団体の発表の場である総合文化祭をさらに活性化させて魅力あるものへと内容を充実させるとともに、次世代を担う子どもたちへ伝統文化が身近に感じられるよう伝え方の工夫をするよう指導していく。また、文芸協会は、活動が学校に活かされる形になったので、学校ともつながりが持てるよう指導していく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。 文化財団設立について研究されたい。